

授業科目名 <英訳>		現代社会と科学技術入門（政策） Science and innovation for the society - invitation			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 川上 浩司				
配当 学年	1回生以上	単位数	1	開講年度・ 開講期	2016・ 前期	曜時限	木1	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
<p>本講義は、「政策のための科学」プログラムの選択科目の1つである。 本講義は、現代社会と科学技術と一貫した講義であり、受講者は原則として本講義を先に受講する必要がある。</p>											
[到達目標]											
<p>「政策のための科学」プログラムにおいては、科学と社会、政策とを「つなぐ人材」の要請を目標としている。この目的のために、様々な関連トピックを取り上げて、講師からの話題提供と、それに基づいた学生間のディスカッションを行い、科学の多様性と社会、政策を考えるための端緒とする。</p>											
[授業計画と内容]											
【予定・内容】											
第1回 5月12日 「政策のための科学」 オリエンテーション(川上:医学研究科)											
第2回 5月19日 大学における学問とは? 分野融合・越境のダイナミクス (宮野:学際融合教育研究推進センター)											
第3回 5月26日 科学的方法について(小山田:学術情報メディアセンター)											
第4回 6月2日 曲がり角の統計行政(広田:経済研究所)											
第5回 6月9日 政策形成とエビデンス -経済政策を事例に-(小嶋:経済研究所)											
第6回 6月16日 研究の進め方(全教員)											
第7回 6月23日 疫学とゲノム科学から社会基盤を考える(中山:医学研究科)											
第8回 6月30日 現代の医療技術が起こす倫理問題とその政策 (ベッカー:こころの未来センター)											
第9回 7月7日 振り返りワークショップ(宮野:学際融合教育研究推進センター)											
第10回 7月14日 研究の進捗確認(全教員)											
[履修要件]											
本講義は、現代社会と科学技術と一貫した講義であり、受講者は原則として本講義を先に受講する必要がある。											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
出席（50％）、レポート（50％）											
----- 現代社会と科学技術入門（政策）(2)へ続く↓↓↓											

現代社会と科学技術入門（政策）(2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学習（予習・復習）等]

適宜予習復習を求める。

（その他（オフィスアワー等））

面談希望は必ずメールで kawakami.koji.4e@kyoto-u.ac.jpまでご連絡下さい。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。